



慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科 オンライン説明会
Graduate School of System Design and Management
Online Guidance of the graduate school of SDM



本日の流れ



- SDM研究科委員長 挨拶
- 教員・研究の紹介
- カリキュラム・入試の説明
- 質疑

※質問は最後の時間に、zoomのQ&Aに書き込んで下さい。
教員がお答えします。

専任教員と 研究分野



Dr. Shiro Kikuchi is a middle-aged man with dark hair, smiling. He is wearing a dark suit jacket over a light-colored striped shirt and a dark tie.



Dr. Shiro Kuroki is a Professor of the Department of Chemistry, Faculty of Science, Kyoto University, Japan. He received his Ph.D. from Kyoto University in 1988 and worked as an Assistant Professor and then an Associate Professor in the Department of Chemistry. He became a Professor in 1998. His research interests are in the synthesis of novel organic materials and their properties.



Portrait of Professor Tetsuya Kato, a middle-aged man with grey hair and glasses, wearing a dark suit and tie.



Dr. Yoon Gook is a middle-aged man with short, dark hair, wearing a dark suit jacket, a light blue shirt, and a red and blue patterned tie. He is smiling slightly and looking towards the camera. The background is a plain, light-colored wall.



Dr. Shiro Kikuchi is a Professor of the Department of Chemistry at the University of Tokyo. He received his Ph.D. from the University of Tokyo in 1998 and worked as a postdoctoral fellow at the University of California, Berkeley. He returned to the University of Tokyo in 2000 and has been a professor since 2003. His research interests are in the synthesis of functional materials and the development of new materials.

[illegible]

Dr. Tetsuya Kato is a smiling man with short dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and blue tie. He is positioned in the bottom right corner of the page.



Dr. Shiro Kikuchi is a Professor of the Department of Chemistry, Faculty of Science, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan. He received his B.S. and M.S. degrees from Yamaguchi University and his Ph.D. from the University of Tokyo. He has been a faculty member at Yamaguchi University since 1992. His research interests include the synthesis of novel organic materials and the development of new chemical reactions.

多様な教員

特別招聘教授



保井 俊之



米澤 創一



金巻 龍一



小林 正弥



紺野 登



持丸 正明



濱口 秀司

海外特別招聘教授



Rashmi Jain



Laurent Balmelli



Ockie Bosch



Olivier L. de Weck



Vittal S. Anantatmula

SDM 教育・研究方針

分野を
横断する→
横串

デザイン学、マネジメント学

システムズエンジニアリング

Multi-Disciplinary

Engineering

Art

Social Science

Political Science

Economical Science

Legal Science

.....

複数分野を知っている



- 大規模・複雑・最新のシステム
- 文理融合、多元的・実践的視点
- 多様な学生・教員・研究者
- 連携：企業・地域・国際



修士課程：カリキュラム

6

- ・4つの必修コア科目(SDM序論、システムアーキテクティングとインテグレーション、システムの評価と検証、プロジェクトマネジメント)
- ・必修プロジェクト科目「デザインプロジェクト」
- ・必修SDM研究(修士論文)(半年に1度の研究発表会)
- ・多様な専門科目(和英、e-learning)

→システムデザイン・マネジメント学の徹底的な定着を図る

修士課程：2つのコース

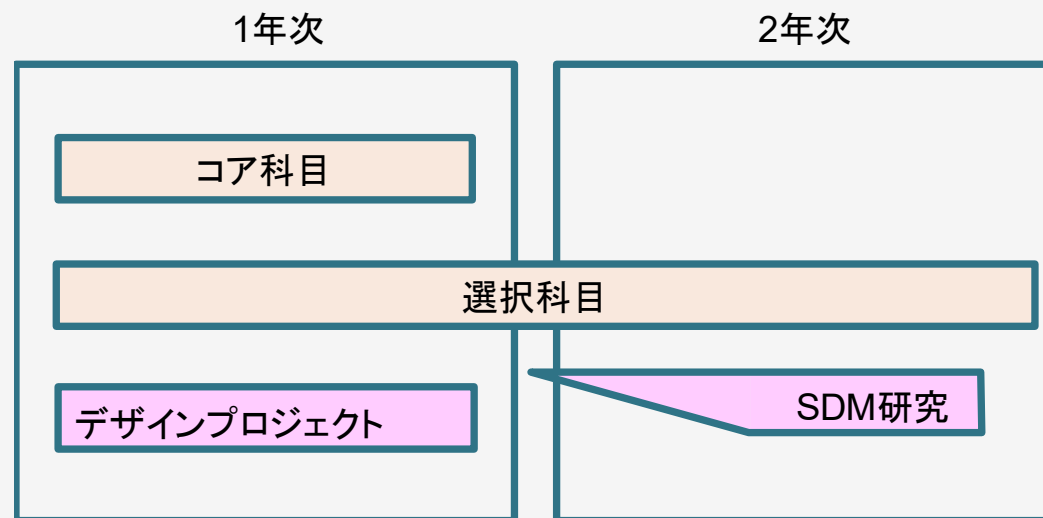
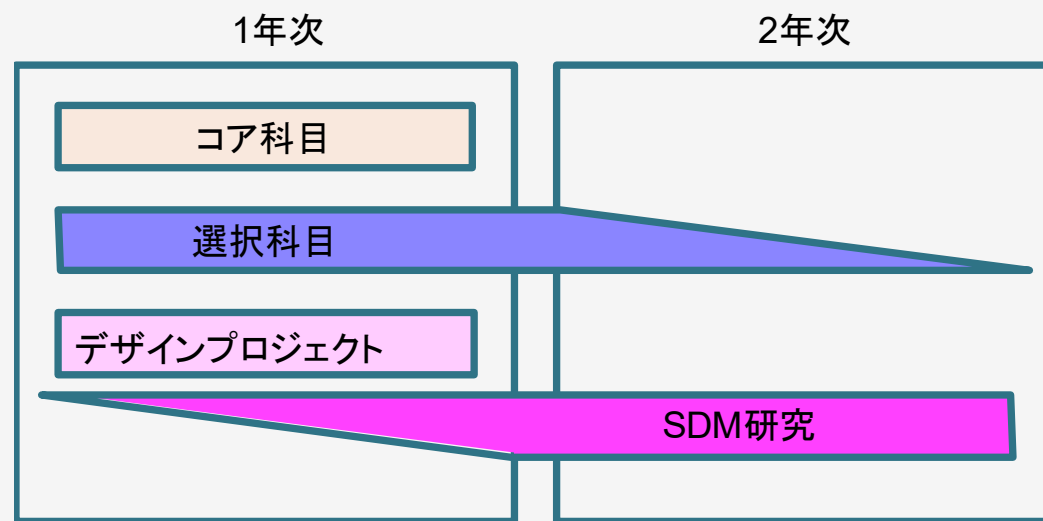
7

(1) リサーチ・インテンシブコース

- ・コア科目(2単位×4科目)
 - ・デザインプロジェクト(4単位)
 - ・SDM研究(8単位)
 - ・選択科目(8科目16単位以上)
- 新卒学生＋社会人学生、学位：SE学、SDM学

(2) ラーニング・インテンシブコース

- ・コア科目(2単位×4科目)
 - ・デザインプロジェクト(4単位)
 - ・プロジェクトデザイン・マネジメント研究(2単位)
 - ・選択科目(16科目32単位以上)
- 社会人学生、学位：SDM学



修士課程：入学時期

(1) 春入学

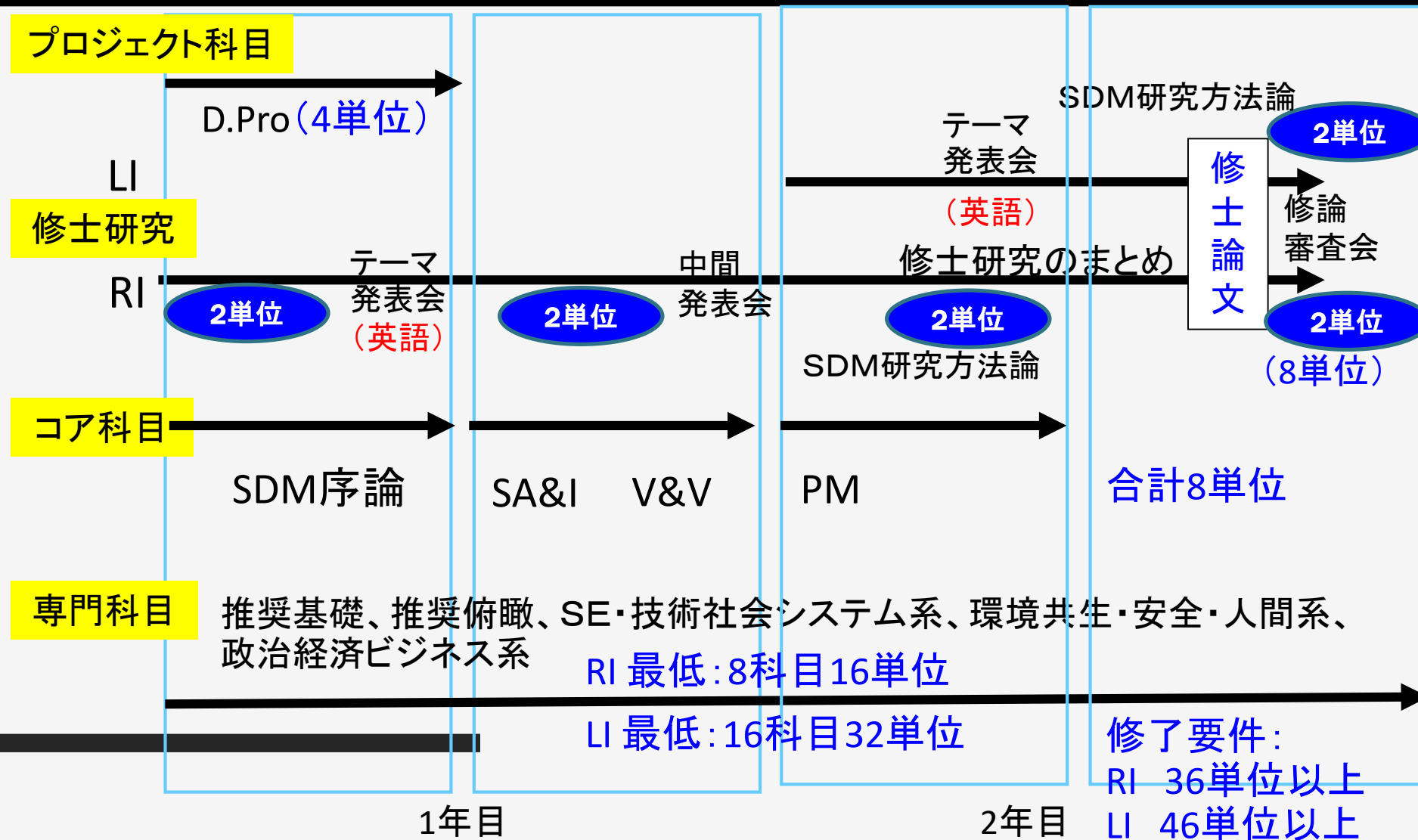
- 基本的に日本語コース
- コア科目(2単位×4科目)は日本語
- もちろん英語科目も自由に単位取得可

(2) 秋入学

- 基本的に英語コース
 - コア科目(2単位×4科目)は英語
 - もちろん日本語科目も自由に単位取得可
-

修士課程（春入学）：学習計画

9

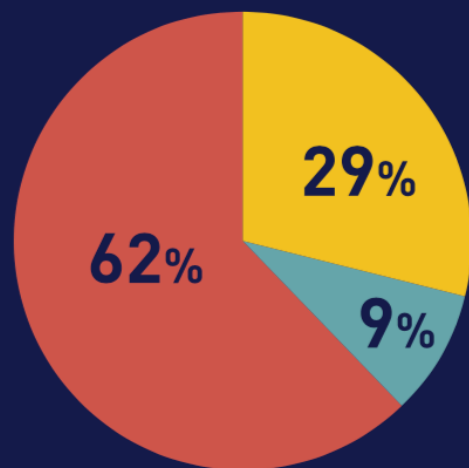


修士課程：学生プロフィール

10

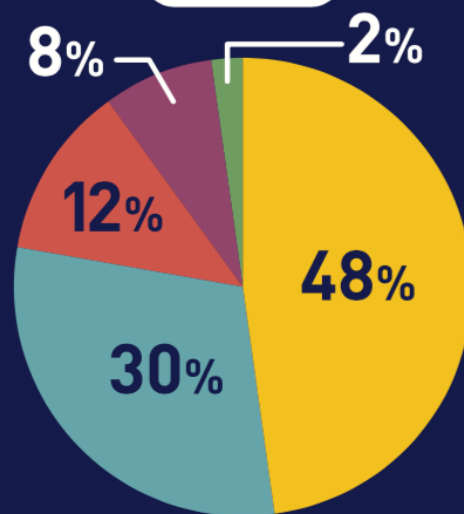
2017年春入学(現修士2年)66名のプロフィール

新卒・社会人



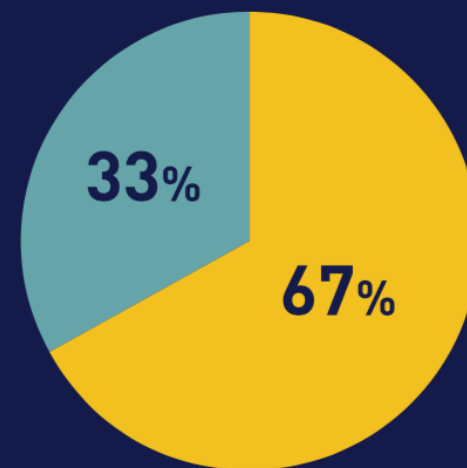
■ 新卒(学部卒後入学) ■ 社会人(就職後入学) ■ 社会人(就業者)

年齢



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60歳以上

性別



■ 男性 ■ 女性

外資系製薬会社／開発部門プロジェクトマネージャー

子どもあり

	月	火	水	木	金	土	日
			宿題				
9:00					仕事		
11:00						授業 or ワーク	ワーク ／研究
13:00	仕事	仕事	仕事	仕事			
15:00					授業 (隔週)		
17:00							
19:00						ワーク ／研究	
21:00	Family	隔週で ワーク	Family	授業	授業		Family
				Family	Family	Family	

修士学生の 1週間①

Q 入学前との変化は？

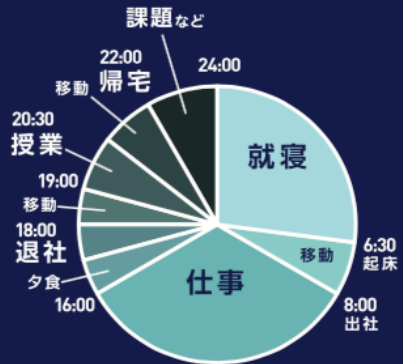
効率的に仕事をすることを心がけるようになり、会社から帰る時間が早くなりました。

Q スケジュールを組むときのコツは？

家族全員、ひとつのスケジュール表で予定を共有。子育て、仕事、学業を両立しつつ、企業のインターンにも参加したりと充実しています。

Q SDMに入学してよかったことは？

ネットワークが広がったこと。SDMは本当に多様な人の集まりで、仲間と話すのはとても楽しく、私にとってのデトックスです。

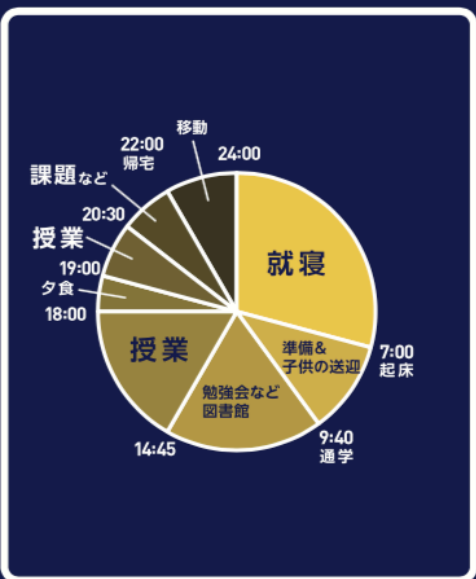


入学と同時に退職

子どもあり

	月	火	水	木	金	土	日
	子どもの支度						
9:00	保育園送り					必修授業	勉強会
11:00	勉強会	研究	三田 キャンパス	研究	研究		
13:00	研究		研究				
15:00		授業					
17:00		KMD					
19:00	他の授業のゼミ	ゼミ	Family	授業	ゼミ	Family	
21:00	Family	Family		Family	Family		Family

修士学生の 1週間②



Q 学校での過ごし方は？

図書館で予習・復習が基本。勉強会を開いたり参加したり、履修以外の授業を聴講するのも楽しいです。

Q リフレッシュ方法は？

学校が楽しいから、学校に来ること自体がリフレッシュ。SDMは明るくて気持ちのいい仲間ばかり。

Q 家族とのコミュニケーションは？

時間のあるときに料理をつくったり、家族サービスは忘れない。(笑) 頑張ってるな！というも奥さんが背中を押してくれています。

Q SDMに入学して驚いたことは？

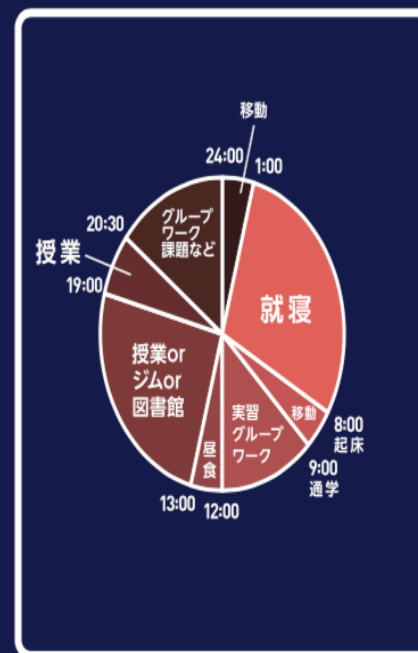
世の中、すごい人がいっぱいいると知ったこと。
井の中の蛙だったなと思いました。

修士学生の1週間③

13

たっぷり学びたい新卒Hさん(男性) 修士1年春学期

	月	火	水	木	金	土	日
9:00	予習 復習 など	ワーク	予習 復習 など	予習 復習 など	予習 復習 など	授業 or ワーク	趣味
11:00		授業 (隔週)					
13:00	ワーク	ワーク	ワーク	授業 (隔週)	ワーク		課題など
15:00							
17:00	予習 復習 など	自習	授業				
19:00	Free	授業	ワーク	Free	授業	ゼミ	Free
21:00		Free			Free	Free	



Q 学部生時代から変わったことは？

学部頃は授業よりも部活優先でしたが、いまは完全に授業中心。授業中の発言やアウトプットで評価が決まるのが、大学院ならではのと思います。

Q 課外活動などは行なっている？

授業のほかに、ビジネスコンテストに参加することも。実家が酒造のため、お酒に関する自主プロジェクトを開くこともあります。

Q 休日は何をしている？

日曜日は課題をしつつ、リフレッシュする日にしています。朝に趣味のゴルフをしたり、友達と飲みに行ったり。

Q SDMに入学して想定外だったことは？

社会人との距離感が近くて、壁がないこと。

\\ 在校生24名に聞きました! //

SDMの魅力ランキング

Q SDMに入学して良かったこと

- 1 素晴らしい先生や同期・先輩たちに出会うことができた
- 2 授業やゼミなどで、自分の視野が広がったり多くの学びを得ることができた
- 3 デザインプロジェクトに参加し、貴重な学びや経験を得ることができた

Q SDMの魅力的なところ

- 1 ユニークで多様性のある同期や先輩・後輩
- 2 個性的で多様な教授陣
- 3 日本でシステムデザインマネジメントやシステムエンジニアリングが学べる数少ない大学院であること

Q SDMのお気に入りの場所

1 協生館図書室



書籍も豊富！
静かで勉強にも集中できます。

2 大部屋



授業でも、自習でも。
みんなで集まってワークしています。

3 小部屋



ゼミ、自習、勉強会など。使い方はいろいろです。



特色ある授業：デザインプロジェクト

15

デザインプロジェクトは、“システムxデザイン思考”を適切に用いながら、社会に新しい価値や価値の変化をもたらすプロダクトやサービスなどをシステムとしてデザインする事を目指したプロジェクト型講義である。目的が異なる3つのフェーズから構成。



15

修士論文の評価基準

1. 研究の全体像

2. リサーチ・インテンシブコース: 新規性・独創性

ラーニング・インテンシブコース: 成果の有用性・実用性

3. 問題設定・仮説

4. 結論の明確さ・検証の質

5. プレゼンテーションの質・修士論文の完成度

過去の修士研究テーマ



慶應義塾大学

慶應義塾大学 学術情報リポジトリ (KOARA)

KeiO Associated Repository of Academic resources

[TOP](#)

[HELP](#)

[ABOUT](#)

全ての修士論文の要旨を見ることができます！

[ホーム](#) » [アイテム一覧](#)

アイテム一覧

印刷

/ Public / (SDM)システムデザイン・マネジメント研究科 / Master's thesis



過去の修士研究テーマ（2018年度の例）

18

小規模組織のための宇宙機用機器の開発プロセス策定を支援するシステムモデルの提案

列車地上間光空間通信におけるミラーアクチュエータ制御の高速化・高精度化

HMDのパーソナルスマートデバイス化に向けた提案と開発

高速ハイパーループポッドのための限られた制動距離に適した3Gブレーキシステムの設計

スキーヤーを雪崩の危険から守る現地気象センサーを用いた弱層発生予測システムの設計と評価

森林音の特長と心理的印象の関係

日中の化学産業を対象とした安全文化の比較による改善方策の提案

組織変革に向けた組織効力感を強化するための方法の提案

新しい取り組みを伝えるクラウドファンディングWeb ページ改善ガイドラインの提案

越境的学習において知識の仲介を促進する手法とツールの提案

日本企業における若年正社員の離職意思・存続意思に影響を与える組織要因

中年期シングル女性のアイデンティティ再構築を目的とした自己編集ツールの設計と評価

後期博士課程：修了要件

1. 入学後6学期以上在籍すること(休学期間を除く)
 2. 大学院学則108条の41の要件を満たして単位を修得すること
システムデザイン・マネジメント特別研究(博士研究)=半期2単位
その他:研究室ゼミ、研究発表(年1回)、修士の必修科目
 3. 博士論文および最終試験に合格すること
-

後期博士課程：修了要件

1. 査読付ジャーナル論文 3編以上

- SDM研究科に在籍中に投稿した論文であること。ただし、在籍中の論文と関連が深いものについては、在籍以前の査読付きジャーナル論文もカウントできる。その場合でも、在籍中、指導教員のもとで、最低1編の論文をまとめ、ジャーナルに投稿・掲載されること。

2. 査読付国際会議論文および短報(ショートノート)

- ①の0.5件に相当。ただし、①の論文となったものを二重にカウントすることはできない。

3. 業績(特許、製品開発、著作、法律、政策など)

- 学位申請前の仮審査(下読み会)で、投稿論文1件に相当する業績として承認することができる。その場合でも、在籍中、指導教員のもとで、最低1編の論文をまとめ、ジャーナルに投稿・掲載されること。

留学：提携先

21

TUD Technology/policy
/management



ETH Management/technology
/economics



INSA Safety/control



Polimi Management
engineering



Cambridge All schools/
sustainability



UCPH Humanity



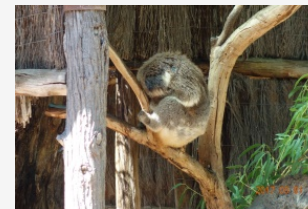
MIT SDM



Purdue Engineering
/Aero



CMUA IT/internship
/online



• 英語試験

• 研究科内選抜

• 奨学金

• 単位取得

• 教員と相談

SDM科目履修コース

22

コア科目の履修が可能な「SDM科目履修コース」:

SDMの基本を学べる4つのコース

■「マネジメントコース」

■「システムズエンジニアリング・アドバンスコース」

■「SDMアナリストコース」

■「イノベーティブデザインコース」

※各コースの構成科目は以下をご参照下さい。

<http://www.sdm.keio.ac.jp/2019/02/01-140102.html>

出願について

○入試要項

http://www.sdm.keio.ac.jp/admission/2020_admi_gaido.pdf

○事前コンタクト

・研究科サイト上の事前コンタクト申し込みフォームに必要事項を入力・送信して下さい。教員からメールが行きますので、研究内容等について相談して下さい。各選考日程の出願締切日から2次選考合格発表までの間、事前コンタクトができません(フォーム閉鎖)。

○2020年度Ⅱ期 Webエントリー期間2020年9月4日(金)～17日(木)

<http://www.sdm.keio.ac.jp/admission/index.html>

入 試

○入試

- ・1次選考：書類審査（郵送+オンライン提出の可能性）

- ・2次選考（オンラインの可能性）

 - 小論文（俯瞰、多視点、論理性、問題解決志向、独創性等）

 - 面接（自身の志望理由・SDMへの理解・研究内容等）

○お問い合わせ先 sdm@info.keio.ac.jp

○研究科サイトで最新のニュース等をご確認下さい。
